

鹿児島県

薩摩川内市立川内南中学校 二年 坊野 真津里

地域を守る消防団

「どうして仕事を二つもやっているの。」

私は、小学四年生まで何で自分の父は、朝会社に行き夕方になると消防団服で出掛けるのかと、とても疑問に思っていました。

けれど、五年生になると、だんだんわかってきて、消防団という仕事は、その人が本職としてやっている仕事以外に、地域の安全を守るため活動している仕事だと知りました。

月に二回、いざという時のために水が使えるか点検をし、火事が起きれば現場に駆けつける。また、地域の行事があれば交通整理を手伝ったりもします。

何度か、父は夜遅くに出勤の要請があり、夜中に帰ってきたのもかかわらず、朝はいつも通りに早い時間に仕事に行く準備をし、出勤していました。体力的にもとてもきついはずなのにすごいと思いました。消防団の方々は、出勤の要請があればすぐに現場に駆けつけ消火活動をしています。そこまでして、なぜ消防団の仕事をしているのかを父に尋ねてみました。すると、

「やっぱり第一は地域の安全を守るため、人々の役に立つこと、そしてそれを自分の子どもたちに見て感じてもらって将来大人になったときに、今の自分のように色々な人の役にたてるようなことをしてほしいからなあ。」

と、言っていました。

その言葉を聞いて、私は消防団という仕事をしている方々はとて

もすばらしい心の持ち主だとも思っても感動しました。そしてやっと消防団の方々が体がきついても続けられる理由も分かりました。このようなことをふまえ、消防団とは地域の安全を守りながら、次の世代からまた次の世代へとその精神を引きついでいる仕事なんだとあらためて感じるようになりました。

これからは、自分の父のように、誰かのために役に立ち見返りを求めず、相手を笑顔にさせられる、そんな生き方が出来たらと思っています。どんどん自分も成長していけるということも頭の中に入れて、消防団はもちろんのこと、消防団以外の仕事でもたくさん人の役に立つ仕事があるので、そういうこともふまえて将来を考えていくことを、父から教えてもらいました。

「人の役に立つすばらしさ、人の役に立ち自分が気持ちのよい毎日を送ることの出来るすばらしさを持つてば、誰にでも守るということは出来る。」

という、とてもすばらしい言葉を胸にこれからも、一生懸命色々な人のためにも、自分のためにも、たくさんプラスになるように考えて行動していきたいと思っています。

